

なぜベルギー語はないのか？

エチュードフランコフォーヌ

3班

ベルギーにおける言語

1. オランダ語(フラマン語): 60%
2. フランス語: 39%
3. ドイツ語: 1%

主に三つの言語が使用されているが、ベルギー語というものはない！



ベルギー誕生の歴史

- 1、BC57 ローマ領
- 2、431 フランク族
- 3、1396 ブルゴーニュ公国
- 4、1477 オーストリア＝ハプスブルク家
- 5、1516 スペイン＝ハプスブルク家
- 6、1549 ネーデルランド(現在のベルギー、オランダ、ルクセンブルクに当たる)が主権を持つ統一国家に
- 7、1579 ネーデルランド連邦共和国
- 8、1609 オランダ連邦共和国成立
- 9、1790 ベルギー合衆国として独立を宣言、オーストリアに阻止される

ベルギー誕生の歴史 続き

10、1795 フランスがネーデルランドを開放、しかし弾圧を受ける

11、1830 10月ベルギー暫定政府樹立

12、1839 オランダがベルギーの独立を認める、永世中立国に

13、1914 WW1ドイツの占領下

14、1939 ベルギー政府はイギリスに亡命

15、1944 連合勢力がベルギーを開放

ベルギーの歴史まとめ

もともとは、**ネーデルランド**(現在のオランダ、ベルギー、ルクセンブルク)の一部であった。

→オランダの独立に続き、ベルギーも独立、ネーデルランドの公用語は**オランダ語**であったので、現在話者の割合が最も高いと考えられる。

歴史を踏まえたうえで...

ベルギーの話者の割合

1. オランダ語(60%)

→ネーデルランドの公用語がオランダ語だったため

2. フランス語(39%)

→フランスに編入されていた時があったため

3. ドイツ語(1%)

→WW1の際にドイツの占領下にあったため

ルクセンブルク語

しかしなぜもとは同じネーデルランドであったルクセンブルクにはルクセンブルク語があるのか？？

＜国民意識の形成＞

- 1、小国であること
- 2、大国（独仏）に囲まれていたこと
- 3、他の欧州諸国におけるナショナリズムの高揚

ルクセンブルクとベルギー

＜ルクセンブルク＞

フランス語

ドイツ語

ルクセンブルク語

人口 54万人

面積 2,586km²

＜ベルギー＞

オランダ語

フランス語

ドイツ語

人口 1120万人

面積 30,530km²

<ルクセンブルク>
面積 2,586km²

<ベルギー>

面積 30,530km²



ルクセンブルク

1815年前後

東部のドイツ語圏と西部のフランス語圏

→ドイツ語の一方言とみなされていた

1830年ベルギー独立宣言

→ドイツでもベルギーでも、オランダでもないルクセンブルクであるという考え

その後もルクセンブルク語の論争は続く

1839年の独立 自らをルクセンブルク人だとは考えていない

WW時代の、ドイツへの反発もあった？

まとめ

＜ベルギーとルクセンブルクを比較して＞

ルクセンブルクは小国であるといった側面が強い

→そのため国民意識が高まった

→ベルギーはその逆である

＜結論＞

ベルギーはネーデルランド時代の歴史的要因により3か国語が共存している。

一方でルクセンブルクほどは小国ではなかったため、国民意識の高まりは起こらず、ベルギー語が生まれるには至らなかった。

ご清聴ありがとうございました

